

### 3 教育課程の改訂

e, 指導書・手びき書の作成

へき地教育の振興と、道徳教育の強化をめざし、また移行措置の徹底を期して次の指導書、手びき書を作成した。研究学校の研究集録は、本年度からB版 2列組みに改めて内容の充実をはかった。

- ◎山村教育研究集録 B 5版 90ページ
- ◎道徳の時間の指導 A 5版 173ページ
- ◎カウンセリングの手びき A 5版 160ページ
- ◎中学校教育課程移行措置資料 A 5版 98ページ
- ◎移行期間における算数の取扱い B 5版 105ページ
- ◎移行期間における数字の取扱い B 5版 80ページ
- ◎昭和34年度研究学校研究集録 B 5版 230ページ

#### A 教育課程の改訂と移行措置について

a, 昭和34年度の授業時数

このことについて、昭和34年 3月 4日付「昭和34年度小・中学校授業時数について」により、第1表、第2表のとおり、標準授業時数を示した。

この標準授業時数は、改訂学習指導要領（特に小学校については、教育課程の移行措置に関する文部事務官通達）の趣旨と、昭和33年度の実施状況などから考えて定められたものである。

(別表 1) 昭和34年度小学校標準授業時数

第 1 各教科 道徳

区 分			学 年					
			1	2	3	4	5	6
A 各 教 科	国	語	204～238 (6～7)	245～280 (7～8)	245 (7)	245 (7)	210～245 (6～7)	210～245 (6～7)
	社	会	68～102 (2～3)	70～105 (2～3)	105～140 (3～4)	140 (4)	140 (4)	140 (4)
	算	数	102～136 (3～4)	140～175 (4～5)	175 (5)	210～245 (6～7)	210 (6)	210 (6)
	理	科	68～102 (2～3)	70～105 (2～3)	105 (3)	105～140 (3～4)	140 (4)	140 (4)
	音	楽	68～102 (2～3)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)
	図	画・工 作		70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)
	家	庭					70 (2)	70 (2)
B	道	徳	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)
C各教科・道徳の総授業時数			816 (24)	875 (25)	945 (27)	1,015 (29)	1,085 (31)	1,085 (31)

(備考) 1, 授業時数の 1単位時間は45分とする。

2, かつこの内の授業時数は、年間授業日数を35週（第1学年において34週）とした場合における週当たり平均授業時数である。

3, 各学年における各教科もおよび道徳の授業時数の計は、上表のC欄（各教科・道徳の総授業時数）によるものとする。

#### 第 2 教科以外の活動・学校行事その他教育活動

各学校においては「第1」の表に示すもののほか、教科以外の活動（児童会活動・学級会活動・クラブ活動）および学校行事その他の教育活動を実施するものとする。

なお、その実施については次の各項によるものとする。

- 1, 児童会活動については、時間を特設しないで実施することができる。
- 2, 学級会活動については、毎週一定の時間をあてることが望ましい。ただし、1回の実施時間は、低学年においては15分以上、中・高学年においては25分以上とする。
- 3, クラブ活動については、中学年以上の各児童について年間35時間以上実施することが望ましい。